



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年1月31日

上場会社名 株式会社ホットマン 上場取引所 東
 コード番号 3190 URL <http://www.yg-hotman.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 伊藤 信幸
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 柳田 聡 TEL 022-243-5091
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	15,905	△2.2	378	△1.9	434	△0.3	213	△9.8
28年3月期第3四半期	16,261	△2.7	385	△16.7	435	△11.0	236	7.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	29.83	—
28年3月期第3四半期	32.52	—

(注) 当社は、第1四半期会計期間より表示方法の変更を行っており、28年3月期第3四半期についても当該表示方法の変更を反映した組替後の数値及び対前年同四半期増減率を記載しております。当該変更により、売上高及び営業利益を変更しておりますが、経常利益及び四半期純利益の変更はありません。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」の「(2) 追加情報」をご覧ください。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	15,108	5,941	39.3	842.15
28年3月期	14,621	5,879	40.2	808.14

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 5,941百万円 28年3月期 5,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,800	△0.2	420	33.2	460	21.0	170	△19.9	23.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	7,275,500株	28年3月期	7,275,500株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	220,000株	28年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	7,156,222株	28年3月期3Q	7,275,500株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済環境は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移したものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響もあり、景気の先行きにつきましては依然として不透明な状況が続いております。

当社の出店エリアにおきましても、長期化する消費者の節約志向に加え、ラニーニャ現象の発生により、11月は北関東を中心に冬季用品の需要が高まったものの、12月は暖冬の影響により売上高は前年同等で推移致しました。

そのような環境の中、当社におきましては、会社方針に「あるもの活かし」を掲げ、今ある「人」「商品」「店舗」「資産」「技術」「信用」を最大限に活用し、売場の改装を始めサービスの提供を中心に強化をはかって参りました。

平成28年8月にスクラップアンドビルドにより、仙台市若林区にあるTSUTAYA沖野店を退店し、同年9月同区にTSUTAYA仙台荒井店を出店致しました。

当第3四半期累計期間末の店舗数は、イエローハットが85店舗、TSUTAYAが9店舗（前年同期間比1店舗減）、アップガレージが7店舗、カーセブンが3店舗、ダイソーが2店舗、自遊空間が1店舗、宝くじ売場が5店舗、セガが1店舗の合計113店舗となっております。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は15,905百万円となり、前年同期間比356百万円（前年同期間比2.2%減）の減収となりました。経常利益につきましては434百万円となり、前年同期間比1百万円（前年同期間比0.3%減）の減益となりました。減益の要因は主として、店舗数減少により減収であったこと並びに新規出店等の投資費用が増加したことによるものとなっております。四半期純利益は213百万円となり、前年同期間比23百万円（前年同期間比9.8%減）の減益となっております。減益の要因は主として、子会社株式譲渡に伴う事業譲渡損60百万円等の特別損失を計上したことによるものとなっております。

セグメント別の業績は次の通りであります。

[イエローハット]

当社の主たる事業であるイエローハット事業におきましては、重点販売として、中長期で取り組んでいる車検・整備を中心としたカーメンテナンスの充実に加え、サービス関連商品の販売強化をはかって参りました。昨今の交通事情の変化や新たなインフラに伴い、ドライブレコーダー等の高粗利商品の販売が比較的好調であったものの、消費者の節約志向が長期化する中、ナビゲーション等の高額商品の売上は依然として厳しい状況となっております。また、ラニーニャ現象の発生により、11月は北関東を中心に盛り上がったものの、12月は暖冬の影響により、売上高は前年同等で推移致しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高12,672百万円（前年同期間比1.9%減）、セグメント利益（営業利益）は535百万円（前年同期間比4.9%増）となっております。

[TSUTAYA]

TSUTAYA事業におきましては、平成28年8月にTSUTAYA沖野店を退店し、同年9月に当社TSUTAYA事業最大の売場面積を誇るTSUTAYA仙台荒井店を出店致しました。

既存店については、主力である書籍は安定的に販売できたものの、前年同期間より1店舗減少したこともあり、TSUTAYA事業全体の売上高は前年同期間を下回りました。また、大型出店に伴い費用が増加致しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,788百万円（前年同期間比9.3%減）、セグメント利益（営業利益）は13百万円（前年同期間比80.7%減）となっております。

[アップガレージ]

アップガレージ事業におきましては、売場の改装と買取強化に注力したこと並びにアップガレージ秋田店（平成27年9月に出店）の軌道化により、売上高は比較的順調に推移致しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高786百万円（前年同期間比3.7%増）、セグメント利益（営業利益）は54百万円（53.5%増）となっております。

[その他]

ダイソー事業におきましては、季節商品の販売が好調で、売上高は順調に推移致しました。

カーセブン事業、自遊空間事業及び宝くじ事業におきましては、売上高は低調に推移致しました。

不動産賃貸事業におきましては、順調に推移致しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高657百万円（前年同期間比6.1%増）、セグメント利益（営業利益）は76百万円（前年同期間比40.4%増）となっております。

（2）財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は535百万円増加し、8,140百万円（前事業年度末7,604百万円）となりました。これは主に、未収入金（その他の流動資産）が64百万円減少したものの、現金及び預金が653百万円、商品が109百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産の残高は48百万円減少し、6,968百万円（前事業年度末7,016百万円）となりました。これは主に、工具、器具及び備品（その他の有形固定資産）が53百万円増加したものの、土地が67百万円、建設仮勘定（その他の有形固定資産）が24百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産残高は15,108百万円（前事業年度末14,621百万円）となりました。

② 負債

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は562百万円増加し、6,015百万円（前事業年度末5,453百万円）となりました。これは主に、未払法人税等が172百万円減少したものの、短期借入金が増加したことによるものであります。

また、当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は138百万円減少し、3,150百万円（前事業年度末3,288百万円）となりました。これは主に、退職給付引当金が増加したものの、長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計残高は9,166百万円（前事業年度末8,742百万円）となりました。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は62百万円増加し、5,941百万円（前事業年度末5,879百万円）となりました。これは主に、四半期純利益を213百万円計上したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の主たる事業のイエローハット事業において、主力商品であるスタッドレスタイヤの販売時期が11月から12月に集中するため、通常第3四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ著しく高くなっております。

上記より平成29年3月期の通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び四半期純利益へ与える影響額は軽微であります。

（2）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

（表示方法の変更）

当社は、不動産賃貸に関わる受取賃貸料及び賃貸収入原価をそれぞれ営業外収益及び営業外費用に計上しておりましたが、不動産賃貸物件の増加に伴い、第1四半期会計期間より受取賃貸料を売上高に、賃貸収入原価を売上原価に計上する方法に変更しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期累計期間の四半期財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期累計期間の四半期損益計算書において、「営業外収益」に表示しておりました「受取賃貸料」40,283千円を「売上高」並びに「営業外費用」に表示しておりました「賃貸収入原価」26,600千円を「売上原価」に組み替えております。

(関係会社株式譲渡について)

当社は、平成28年10月12日付で、(株)TSUTAYAとの間で、連結子会社であった(株)多賀城葛屋書店(宮城県、TSUTAYA事業)を(株)TSUTAYAに譲渡することを目的として、当社保有(株)多賀城葛屋書店株式の全部を(株)TSUTAYAに譲渡致しました。

これに伴い、子会社株式売却損6,659千円を計上しております。また、交渉の結果、平成28年11月30日に(株)TSUTAYAと「(株)多賀城葛屋書店譲渡に関わる負担金の契約」を締結し、事業譲渡損60,880千円を計上致しました。

なお、連結子会社が存在しなくなったことから、当第3四半期より非連結決算へ移行しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	842,358	1,495,681
売掛金	568,124	518,447
商品	5,115,482	5,225,259
貯蔵品	1,751	1,669
その他	1,077,100	898,980
流動資産合計	7,604,817	8,140,038
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,506,285	2,488,773
土地	1,868,902	1,801,214
その他(純額)	508,370	511,361
有形固定資産合計	4,883,558	4,801,349
無形固定資産	57,124	46,560
投資その他の資産	2,076,184	2,120,584
固定資産合計	7,016,867	6,968,495
資産合計	14,621,685	15,108,534
負債の部		
流動負債		
買掛金	996,990	1,122,284
短期借入金	2,250,000	2,850,000
1年内返済予定の長期借入金	1,068,100	985,700
未払法人税等	261,195	88,314
賞与引当金	81,666	14,166
ポイント引当金	238,282	238,408
その他	556,866	717,030
流動負債合計	5,453,100	6,015,904
固定負債		
長期借入金	1,866,050	1,667,350
退職給付引当金	904,723	968,225
役員退職慰労引当金	133,926	136,191
資産除去債務	143,192	145,416
その他	241,079	233,691
固定負債合計	3,288,971	3,150,874
負債合計	8,742,071	9,166,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,645	1,910,645
資本剰余金	500,645	500,645
利益剰余金	3,364,145	3,504,869
自己株式	-	△108,380
株主資本合計	5,775,437	5,807,779
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	104,176	133,975
評価・換算差額等合計	104,176	133,975
純資産合計	5,879,613	5,941,755
負債純資産合計	14,621,685	15,108,534

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	16,261,880	15,905,221
売上原価	9,381,068	9,140,048
売上総利益	6,880,812	6,765,172
販売費及び一般管理費	6,495,077	6,386,738
営業利益	385,735	378,433
営業外収益		
受取手数料	25,334	23,515
産業廃棄物収入	32,561	23,498
その他	32,967	41,893
営業外収益合計	90,864	88,907
営業外費用		
支払利息	38,223	30,891
その他	2,719	1,952
営業外費用合計	40,942	32,844
経常利益	435,656	434,497
特別利益		
受取保険金	—	1,300
特別利益合計	—	1,300
特別損失		
固定資産売却損	—	4,596
減損損失	7,964	—
災害による損失	—	1,891
固定資産除却損	890	2,398
子会社株式売却損	—	6,659
事業譲渡損	—	60,880
賃貸借契約解約損	—	7,881
その他	—	13
特別損失合計	8,854	84,321
税引前四半期純利益	426,801	351,475
法人税、住民税及び事業税	141,678	89,549
法人税等調整額	48,537	48,447
法人税等合計	190,215	137,997
四半期純利益	236,586	213,478

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益計 算書計上額 (注3)
	イエローハッ ト	TSUTAYA	アップガ レード	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	12,912,513	1,971,194	758,682	15,642,389	619,490	16,261,880	—	16,261,880
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	21,091	1,197	499	22,788	6,075	28,863	△28,863	—
計	12,933,604	1,972,391	759,181	15,665,178	625,566	16,290,744	△28,863	16,261,880
セグメント利益	510,624	68,311	35,460	614,397	54,336	668,733	△282,998	385,735

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、自遊空間事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△282,998千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益計 算書計上額 (注3)
	イエローハッ ト	TSUTAYA	アップガ レード	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	12,672,792	1,788,538	786,709	15,248,041	657,179	15,905,221	—	15,905,221
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	18,306	1,160	3,377	22,844	8,466	31,311	△31,311	—
計	12,691,099	1,789,699	790,086	15,270,885	665,646	15,936,532	△31,311	15,905,221
セグメント利益	535,462	13,186	54,433	603,082	76,266	679,349	△300,915	378,433

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、自遊空間事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△300,915千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。